

第4学年 国語科学習指導案

日 時 平成25年11月13日(水) 6校時

場 所 4年教室

児 童 男7名 女6名 計13名

指導者 川 村 和 栄

- 1 単元名 家族やふるさとを思う心をポスターでしようかいしよう
学習材 「世界で一番美しいぼくの村」東京書籍 4年下
家族やふるさとをテーマにした本 数冊

2 単元を貫く言語活動とその特徴

単元を貫く言語活動として「家族やふるさとを思う心をポスターで紹介する」ことを位置づける。

ここで取り上げる「読書紹介ポスター」には、①主人公の行動や気持ち、性格、出会う登場人物による心情の変容をとらえ、考えをまとめる力をつけるため「人物紹介」②物語の大体をとらえ、大事な言葉を見つけて短くまとめる力をつけるため「あらすじ」③選んだ本を紹介するために優れた叙述を引用しその理由をまとめる力をつけるため「心に残った一文」等で構成する。

作成後は、学級で交流会を行い、自分が読んだ本と同じでも人によって感じ方が違うことに気づいたり、自分が読んでいない本で読んでみたいという気持ちをもてたりするようになっていきたい。また、まだ読んだことのない3年生に紹介することを念頭に置き、わかりやすくまとめるようにさせていきたい。

ポスターのキャッチコピーには引用文を使い、物語の魅力を訴えることができるようにする。一目であらすじや主人公の心情の変化なども知ることができるので、紹介するのに適していると考えた。また、レイアウトを工夫したり挿し絵を入れたりすることで、より本のおもしろさを伝えることができると考えた。

上記のような「紹介ポスター」にまとめて交流することで、友だち同士でおもしろかった本を紹介し合ったり、同じテーマの本を交換して読んだりするなど、読書への関心を高めることができると考えた。

このことにより、「目的に応じて、いろいろな本や文章を選んで読むこと」(読むことカ)を実現できるようにしている。

3 単元について

(1) 児童について

本学級の児童は、3年生の12月には「目的に応じて、いろいろな本や文章を選んで読む力」の育成をねらい、読書教材「木かげにごろり」で、世界の民話を読み、おもしろさを読書発表会で紹介するという活動を行っている。

4年生になり、6月には、「場面の移り変わりに注意しながら、登場人物の性格や気持ち

の変化、情景などについて、叙述を基に想像して読む力」の育成をねらって、読解教材「走れ」で、中心人物の気持ちの変化や情景を想像しながら読み「なりきりブック」作る活動を行っている。

これまでの学習を通して、物語を場面ごとに要約することはできるようになってきたが、物語全体を通して読み、あらすじをとらえるまでには至っていない。そこで、物語の組み立てを理解させながら、「はじまり」「出来事」「変化」「むすび」の順であらすじをまとめるよう指導していきたい。また、心情が表れている言葉を探することはできるようになってきているが、叙述を根拠に人物の気持ちを想像したり、人物像をとらえたりすることについては個人差が見られる。それは、言葉が乏しいために、自分の思ったことや感じたことを明確に表現することができないためと思われる。そこで、語彙集を活用したり辞書で調べたりする習慣をつけさせていきたい。

(2) 単元構成について

本単元でつけたい力は、「目的に応じて、いろいろな本を選んで読む力」と考えた。

第1次では、テーマ読書について考え関心を高めさせたい。教師作成の「紹介ポスター」を見て、「家族やふるさとを思う心を描いた本をポスターで紹介する」という学習のめあてを持ち、学習の見通しを持たせる。

単元全体を通して、家族やふるさとを思う心をテーマにした本を並行読書させていく。

第2次では、ポスターに入れる要件に沿って、学習材、「世界で一番美しいぼくの村」に描かれた「家族やふるさとを思う心」を「ポスター」にまとめる学習を行う。

第3次では、並行読書してきた本について、2次で学習したことを想起しながら、自分の選んだ本の家族やふるさとを思う心を中心に「紹介ポスター」にまとめて友だちと交流し、新たな読書活動へと広げていく。

本教材「世界一美しいぼくの村」（東京書籍4年下）は、パグマンの村に住む少年ヤモの一日を通して、家族愛や郷土愛が描かれている。物語はパグマンの村が戦争で破壊され、今はないという急展開の衝撃的な一文で結ばれている。すべてを破壊してしまう戦争の悲しさと反して、美しい自然や、生き生きと日常生活を送る人々が優しく描かれている。このことから家族やふるさとへの思いを十分味わうことができる教材である。

(3) 指導について

第1次では、既習事項を想起しながらテーマ読書について考えさせる。さらに、6月に学習した「走れ」の物語に描かれている家族を思う心を教師が「紹介ポスター」にまとめた物を見て、意欲を持たせ、「家族やふるさとを思う心を描いた本をポスターで紹介しよう。」という学習のめあてをもつ。その際、紹介するためにはどんなことを学習していけばよいかを出し合い学習の見通しを持たせる。次に、読書に広がりを持たせるために、家族愛や郷土愛を描いた作品を並行して読み進めていく。ブックリストを活用しながら意欲的に読み進めていけるようにし、紹介するために読書カードに書きためていくことを知らせ、書き方を練習する。

第2次では、「時や場」「人物」「出来事」を表す叙述に着目し、大体のあらすじをとらえる。次に、物語の舞台であるパグマンの村について挿絵や叙述から美しい情景やそこで暮らすヤモの様子を想像する。そして、「登場人物の気持ちの変化や登場人物同士の関わりを

とらえるために、気持ちの表れている表現にアンダーラインを引いて行く。そして、「人物関係図」を活用して登場人物同士の関わりや気持ちの変化を考えさせることで、ヤモの家族やふるさとを思う心を読みとらせたい。また、最後の一文について、春を待ち望むヤモの気持ちと対比しながら想像させていきたい。その際、ペア学習やグループ学習を通して、全員が自分の思いや考えを言葉を選びながら音声言語で表現し仲間に聞いてもらうという時間を保証していく。仲間との読みの交流をすることで、一人一人感じ方が異なることを体験することができる。自らの読みの確かさを実感したり、反対に、自らの読みの曖昧さに気づいたりさせたい。日常活動の中でも、自分の言葉で表現する力をつけるために、語彙集を活用して、言葉が見つからないときには表現する際の手がかりとさせたい。

第3次では、並行読書で読み進めてきた本から紹介したいお話を選んで「紹介ポスター」をかく。2次での学習した経験を想起しながら、自分の力で読んでいくようにさせる。その際、叙述をもとに人物の心情の変化を想像したり、登場人物同士の関わりを考えたりしながら自分の言葉で表現させたい。そして、お互いの作品の良さを見つけさせながら交流させていくことで、さらに読書意欲を高め、児童の読書生活を豊かにしていきたい。

4 単元の指導目標

○家族やふるさとを思う心を描いた物語を味わって読んだり、おもしろさに気づいたりしながら関心を持って読もうとしている。(関心・意欲・態度)

○「家族やふるさとを思う気持ち」というテーマに沿って、いろいろな本を選んで読んだり、好きな作品を紹介するために、内容や構成全体を理解しながら読んだりすることができる。
(読むこと)

○表現したり理解したりするために必要な文字や言語について、辞書を利用して調べる方法を理解し、調べる習慣をつけることができる。(伝統的な言語文化と国語の特質の関する事項)

5 単元の評価規準

国語への関心・意欲・態度	読む能力	言語についての知識・理解・技能
○家族やふるさとを思う心を描いた物語を味わって読んだり、おもしろさに気づいたりしながら関心を持って読もうとしている。	◎自分が読んで紹介したいと思う本について、選んだ理由を明らかにしながら読んでいる。(カ) ○自分が選んだ本のおもしろさを伝えるために、内容や構成全体を理解しながら読んでいる。(ウ)	○理解するために必要な文字や語句について、辞書を利用して調べる方法を理解し、調べる習慣をつけている。(イ(カ))

6 本単元の読みの視点

- (1) 「時や場」「人物」「出来事」や挿絵をもとに、あらすじをつかむこと。
- (2) 挿絵や情景を表す言葉に着目しながら、物語の舞台をとらえること。

- (3) 出会った人物や出来事に着目しながら、主人公の気持ちの変化や性格を想像すること。
- (4) 叙述を基に「家族やふるさとを思う気持ち」を想像して伝えたいところを選び、引用する理由を明らかにすること。

7 単元の指導計画 (全11時間扱い)

【単元につながる同系統の前学習】				
目標 世界の民話を読んで、民話のおもしろさを味わう。				
指導事項 目的に応じて、いろいろな本や文章を選んで読むこと。				
言語活動 民話屏風で紹介しよう				
学習材 「木かげにごろり」				
次	時	学習内容	並行 読書	指導上の留意点(・) 評価(◇)
1	1	○読書経験を想起し、テーマ読書について関心をもつ。		・今までの学習してきたことを想起しながら分類し、テーマ読書への関心を高めさせるようにする。 ◇分類しながら、テーマ読書に関心を持って読もうとしている。(観察)
	2	○学習計画を立てる。		・「読書紹介ポスター」で表す目的を知り、紹介するために必要な要件は何かを考え、学習のめあてがもてるようにする。 ◇「読書紹介ポスター」に興味を持ち、目的に応じて本を選んで読もうとしている。(観察・振り返り)
	3	○読書カードの書き方を知る。		・「家族やふるさとを思う心」を描いた本を紹介するための読書カードの書き方を理解し、書けるようにする 視点(1)(2)(3)(4) ◇読書カードの書き方を理解し、読書経験を想起して実際に書いている。(読書カード・観察)
2	4	○物語の大体をとらえあらすじをまとめる。		・挿絵や「物語の組み立て」を手がかりに出来事をまとめ、大体のあらすじをつかむことができるようにさせる。 視点(1) ・並行読書してきた作品の、大体のあらすじを確認させる。 ◇大体のあらすじをまとめている。(ワークシート・発言)
	5	○物語の舞台について想像する。		・作品に描かれているパグマンの村や町の様子を挿絵や叙述を基に読み、想像できるようにさせる。 視点(2) ・並行読書してきた作品の舞台を確かめさせる。

			◇話の舞台となっているアフガニスタンという国を知ることができる。(ワークシート・発言)
	6	○主人公の揺れる心情を読む。	<ul style="list-style-type: none"> ・主人公と出会った人、出来事から、心情の変化を想像させ人物像をとらえることができるようにする。 視点(3) ・並行読書してきた作品の人物像をつかませる。 ◇叙述を基に、登場人物の心情を想像している。(ワークシート・発言)
本時	7	○主人公の家族やふるさとを思う気持ちを読む。	<ul style="list-style-type: none"> ・家族やふるさとを思う気持ちの表れている文から、主人公のどんな気持ちが込められているかを挿絵にも着目して考え、紹介したい文を選び、引用する理由を明らかにできるようにする。 視点(4) ・並行読書してきた作品の、家族やふるさとを思う気持ちの表れている文を見つけさせる。 ◇家族やふるさとを思う心がわかる場所を見つけ、主人公の気持ちを想像している。(ワークシート・発言)
	8	○「世界一美しいぼくの村」を「読書紹介ポスター」にまとめ、交流する。	<ul style="list-style-type: none"> ・友だちの作品を読み合い、良さや一人一人の感じ方の違いに気づくことができるようにさせるかせる。 視点(1)(2)(3)(4) ◇自分との類似点や相違点を感じながら交流している。(観察・振り返り・発言)
3	9	○家族やふるさとを思う心を描いた作品を読む	<ul style="list-style-type: none"> ・目的に応じて本を選んで読むことができるようにする。 ◇家族やふるさとを思う心を描いた作品に興味を持って読もうとしている。(観察)
	10 11	友だちに紹介したい本を「読書紹介ポスター」にまとめ交流する。	<ul style="list-style-type: none"> ・読書カードから紹介したい本を選び、学習材での経験を想起しながら「読書紹介ポスター」にまとめ交流することができるようにする。 ◇2次で学習したことを想起しながら、自力で作成している。(観察・ポスター・発言)
<p>【単元につながる同系統の次学習】</p> <p>目標 動物と人間の関わりを描いた本を読み広げる</p> <p>指導事項 目的に応じて、複数の本や文章などを選んで比べて読むこと。</p> <p>言語活動 本の帯で紹介しよう</p> <p>学習材 「大造じいさんとガン」</p>			

8 本時の指導

(1) 目標

・行動や会話などの叙述を基に、家族やふるさとを思う気持ちを読み、ポスターで紹介したいところについて理由を明らかにしながら選ぶことができる。

(2) 展開

段階	主な学習活動	主な発問 (○) と指示 (△)	指導上の留意点 (・) と評価 (◇)
つかむ 5分	1 前時までの学習を想起させ、本時の課題を確認する。 家族やふるさとを思う心を読み、しょうかいしたいところを見つけよう	△今日の課題を確認しましょう。	・前時までの学習を想起させ、本時の学習内容を確認する。
ふかめる 30分	2 ヤモの家族やふるさとを思う気持ちを見つけよう。 ・一人学びをする。 ・ペア学習をする。 ・全体で交流する。	△家族やふるさとを思う気持ちの分かるところはどこですか。 △紹介したいところを選び、選んだ理由をまとめましょう。 △ペアで交流しましょう。 ○ヤモはなぜ、白い子羊に「バハール」という名前を付けたのでしょうか。 ○ヤモは、パグマンの村のどんなところを世界一だと思っているのでしょうか。 ○最後の一文について考えましょう。	・会話文や行動を表す文に着目しながら、父や兄、ふるさとに対する思いの描かれている叙述をさがさせる。 ・一文からヤモの気持ちを考え、選んだ理由を明らかにさせる。 ・ペアで考えを交流させることにより、同じ文でも選んだ理由やとらえ方が違うことに気づかせ、自分の考えをさらに深めさせる。 ・兄の帰りを待ち望むヤモの気持ちを想像して話し合わせる。 ・情景や会話からヤモのふるさとに対する思いを話し合わせる。 ・戦争で破壊された物は何か問いかけ、話し合わせる。 ◇ヤモの、家族やふるさとを思う心を読むことができたか。 ＜評価規準＞ ◇ 叙述を基に、主人公の気持ちを想像しながら読み、理由を明らかにして、伝えたい一文を選んでいる。

			支 会話文や行動に着目させながら文を見つけさせ、主人公の気持ちを想像させる。
まとめ 10分	3 家族やふるさとを思う気持ちをまとめる。	△伝えたい一文をポスターにまとめましょう。	・伝えたい一文と選んだ理由をポスターに書かせる。
	4 並行読書の中で家族やふるさとを思う心を紹介する。	○読んでいる本で家族やふるさとを思う心を見つけましたか。	・読書カードから、見つけた家族やふるさとを思う気持ちを紹介させる。
	5 本時の学習を振り返る。	△今日の学習を振り返りましょう。	・自分と友だちの感じ方の違いを知り、お互いの考えの良さを認め合いながら振り返らせる。
	6 次時の学習内容を確認する。	△次の時間には「読書紹介ポスター」を交流しましょう。	・次時は紹介ポスターを完成させ、みんなで交流することを伝える。

9 板書計画

